

Davenport, Millia. The book of costume. New York, Crown,(1948)1956.2vols.in 1. 28.5×20.5cm <383.1-D>

著者ダヴンポート（ハルコビイ夫人Mrs. Edword Harkövy）はアメリカの服装研究家で、バーナード演劇学校卒業後、パースンズ・スクールで服飾デザインを学んだ。舞台美術・衣裳家としても知られている。彼女の服装の分野での仕事、調査、研究は服装書に三つの結論をもたらした。第一は、著者によって描かれた挿図の書籍が通常、非難を受けやすく、それら図の多くは効果的に描かれていない。第二は、最良の書籍は多くの挿図と、それらのすべてに同時代の典拠を載せ、記述は同時代の言語を基盤にしていること。第三は、あらゆる絵の物的所在地や典拠、及びすべての写本番号が色刷り複製ならなおのこと、より詳細な情報や多くの図版を系統的に見出すのに有益なものとして、可能なかぎり示されねばならない、ということであった。

すなわち、彼女の考えでは理想的な服装書とは言葉を使用せずとも説明がつく多くの実証的な年代順の色刷り図版が掲載されていることであった。また、典拠となる資料が服装に直接関係したものでないような書籍、例えば、古い歴史書、考古学の写真集や印刷物、文化及びその芸術史書、博物館・図書館・大学・学会・機関などの主催の目録や冊子、そして芸術や考古学に関する定期刊行物などの中からも衣服について最良で、時には唯一の実情的情報が得られることがあることを注意深く指摘している。

本書は、資料の収集だけで10年を要したという。初め、編集準備に入った7年前には文化史的、時代史的に服装の変遷を要約した図解形式の一卷ものの「服装辞典」として企画されていたが、編集の都合上、中止されて本書になった。初版は1948年で、初めは2巻本であったが、その後合冊された。

目次は、第1巻が古代オリエント、ナイル川、ギリシャ圏、ローマ人と異邦人、ローマ・カトリック教会、暗黒時代（封建勢力）、花咲ける騎士道（12世紀）、封建君主と王侯たち（13世紀）、都市貴族の勃興（14世紀）、ルネサンスの始まり（15世紀）、文化の北方移行（16世紀）、第2巻は、文化の北方移行（16世紀・続）、世界の拡大（17世紀）、精神の変革と人間（18世紀）、工場の繁栄（19世紀）、となっており、古代オリエントから19世紀までのあらゆる図解を網羅的に集大成し、通巻2778点の写真を載せて、各時代の文化史的、社会的背景にも触れている。

（佐藤）